

令和元年度第1回役員会・監事会を開催

5月13日に、本年度第1回の役員会及び監事会を開催しました。役員会では冒頭、長岡秀人会長(出雲市長)が、「農業農村整備事業予算の予算確保に向け国や関係機関に対し、予算確保等に向けて要望、提案活動を行っていききたい。」と挨拶がありました。

役員会は、議事録署名人に嘉戸理事(美郷町長)と多久和専務理事を選出した後、長岡会長が議長となり、提出議案の審議が行われました。

審議は、提出された議案ごとに事務局から提出事由と内容説明の後、質疑応答、採決が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

承認された議案は、下記のとおりです。

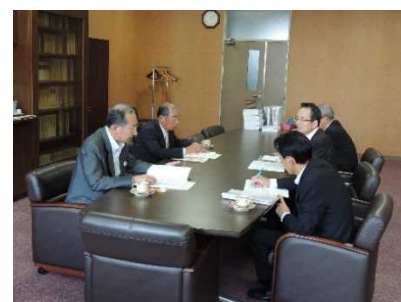
【役員会提出議案】

- 第1号議案 会務報告
- 第2号議案 諸規程の改正について
 - (1) 業務規程の一部改正
 - (2) 農道台帳作成業務受託料の改正
 - (3) 職員給与規定及び職員の初任給、昇格、昇給等の基準の改正
 - (4) 職員給与支給内規の一部改正
- 第3号議案 検査指摘事項に関する改善措置状況等の報告について
- 第4号議案 職員の募集について

また監事会では、会務報告と今年度の監査計画について審議されました。引き続き平成30年度の収支決算監査が行われ、決算書や関係諸帳簿類について精査された結果、いずれも適正に処理されていると認められました。



役員会の様子



幹事会の様子

■ 令和元年度 第1回役員会・監事会を開催	1
■ 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会	2
■ 平成31年度農地中間管理事業等推進会議	2
■ ルーラル・ミーティングinしまね(令和元年)について	3
■ 田んぼの学校in山王寺『田植えコース』	4
■ 6月の主な予定	4

中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会

5月27日に徳島県（ホテルクレメント徳島）で中国四国土地改良事業団体連合会の総会が開催され、本会から多久和専務理事と渡部常務理事（外1名）が出席しました。



主催者挨拶：川真田会長

総会は当番県である徳島県土連の川真田会長の挨拶で始まり、大浦中国四国農政局長、松本徳島県農林水産部農林水産基盤整備局長の来賓祝辞の後、議事に入りました。議事では農業農村整備推進の要望、本年度の事業計画について審議が行われ、各議案とも承認されました。

その後、渡邊中国四国農政局設計課長から平成30年7月豪雨災害への対応及び状況、令和元年度予算、スマート農業への取組、中国四国管内の国営事業の実施状況について報告がありました。

議案で承認されました下記4項目について、農林水産省や財務省に対して積極的な要望・提案活動を行うこととなりました。

【要望・提案事項】

- 1 中国四国地域の農業農村整備に必要な当初予算の確保について
- 2 多面的機能支払交付金の予算確保等について
- 3 土地改良区の運営支援について
- 4 災害復旧事業制度の見直しについて

平成31（令和元）年度農地中間管理事業等推進会議

令和元年5月17日（金）、出雲合同庁舎にて、しまね農業振興公社主催の平成31（令和元）年度農地中間管理事業等推進会議が、中四国農政局をはじめ、島根県、市町村及びJAの農地中間管理事業に係る職員67名が一堂に会し、開催されました。



会議の様子

この推進会議では、農地中間管理機構が行う、農地中間管理事業等について、円滑な事業推進及び事務処理が図れるように、関係機関等と連携・調整を行い、農用地の利用の効率化及び高度化の促進を図ることを目的としています。

今回の推進会議では、農地中間管理事業5年後の見直しについて、機構集積協力金・担い手集積支援金について及び農地中間管理事業関連についての説明が行われました。また、冒頭のあいさつでは、しまね農業振興公社 曾田専務より、農地中間管理事業の制度はまだ新しく始まったばかりの制度であり、これからさらに現状に合った農業者が使いやすい制度にしていきたい、と述べられました。

＝ ルーラル・ミーティングinしまね（令和元年） ＝

2019 語り部交流会 in しまね

ぜひご参加を！！（現在申込受付中）

- 1 開催趣旨 : 県土のおよそ9割が中山間地域等の条件不利地である本県では、古来、水田農業を中心とした農村社会が形成されてきました。そうした中、このたび出雲神話発祥の地といわれる奥出雲町において、「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が、中国地方で初めて日本農業遺産に認定されたことを祝し、「語り部交流会」が計画されました。語り部交流会とは、農村や農業用水等に関わる歴史や民話に耳を傾けながら、地域農業に対する思いなどを語り合い、子ども達への伝承や都市と農村の交流等を促進することを目的として全国各地で開催されています。この機会に、郷土の歴史から学びつつ、新たな時代における持続可能な農村社会を共に考えることができるよう、ルーラル・ミーティングを開催します。
- 2 開催日時 : 令和元年6月29日（土）13時30分～16時10分（研修会）
6月30日（日）9時00分～12時00分（現地視察）
- 3 開催場所 : 島根県仁多郡奥出雲町三成 436「奥出雲町農村環境改善センター」
TEL0854-54-2080
- 4 プログラム : 『2019 語り部交流会 in しまね（ルーラル・ミーティング in しまね）』
13:30 開会
13:40 語り 「たたらが育んだ里山の情景」
～豊かな水が鉄穴流しから棚田へ 持続する農文化～
語り部 かたりすと 平野 啓子 氏
14:10 講演 「なぜ奥出雲がヤマタノオロチ退治の舞台となったか！」
NPO法人 出雲学研究所理事長 藤岡 大拙 氏
14:55 語りフォーラム 「いにしへの技を受け継ぐ里地里山のこれから」
コーディネーター：平野 啓子 氏
パネラー：藤岡 大拙 氏
和久利 健 氏 （農）石原里田 代表理事
内田 咲子 氏 （有）咲楽 代表取締役
高尾 昭浩 氏 奥出雲町役場 地域づくり推進課長
農林水産省幹部職員
16:05 閉会
16:30～18:30 懇親会（田舎料理の夕べ）奥出雲町農村環境改善センター2階
『現地視察』翌日30日（9:00～12:00）
視察先：①大原新田（日本の棚田百選）
②農事組合法人 石原里田
③亀嵩地区環境保全管理協定（多面的機能支払活動組織）
- 5 参集者 : 約400名（申込み順）
一般県民、国・県・市町村職員、土地改良区役職員、多面的機能支払活動組織
- 6 主催 : 島根県土地改良事業団体連合会
- 7 共催 : 島根県、島根県農業農村整備推進協議会、島根県農地・水・環境保全協議会
- 8 協賛団体 : 奥出雲町、奥出雲町農業遺産推進協議会、奥出雲町土地改良区
- 9 協力 : 平野啓子（「語り部交流会」企画・開催指導）

田んぼの学校 in 山王寺『田植えコース』

5月26日、雲南市大東町山王寺で、田んぼの学校『田植えコース』が開催され、強い日差しが照りつける中、近隣の市町から家族連れや地元の方を含め約60人の参加により開催されました。

この日の田植え作業に備え、一週間前には「棚田保全作業」として地元や雲南市、県及び本会職員が参加して草刈りと代かき作業が行われており、当日はきれいに代かきされた田んぼに入り、地元の方の指導を受けながら古代米の黒米とコシヒカリの苗を植えました。また、田植えの後には、さつまいも植えも行いました。

作業終了後には、地元の女性の方々に準備していただいた“棚田舎カレー”が振る舞われ、おいしくいただきました。

田んぼの学校は、後継者不足や高齢化が進み、棚田の保全がむずかしい状況になってきた中で、農村の良さを広く多くの方に理解していただき、また、地元の農産物をアピールして活性化を図ることを目的に平成18年度から開催されています。

今後の田んぼの学校は、9月22日(日)に『稲刈りコース』、11月2日(土)に『棚田祭りと収穫祭コース』が予定されていますので、多くの方の参加をお待ちしております。



田植えの様子

6月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
6月5日(水)	農業農村整備の集い	東京都
6月12日(水)	令和元年度 管内農業集落排水事業関係説明会	岡山市
6月12日(水)～ 13日(木)	平成31年度全国換地システム協議会総会及び第25回換地システム開発部会	東京都
6月14日(金)	農地バンク5年度見直し推進決起集会及び人・農地プラン推進パネルディスカッション	東京都
6月20日(木)～ 21日(金)	令和元年度土地改良管理指導担当者会議	東京都
6月29日(土)～ 30日(日)	2019語り部交流会 in しまね (ルーラル・ミーティング)	奥出雲町



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp